

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- ・「在中外資系企業 ESG 活動報告」が発表 中国式現代化による新たな発展のチャンスか：5月13日に

排名	企业名称	企业标识	评价星级	所属国家/地区	行业分类
1	中国三星	SAMSUNG	★★★★★	韩国	制造业
2	中国松下	Panasonic 松下电器	★★★★★	日本	制造业
3	现代汽车集团 (中国)	HYUNDAI 现代汽车集团	★★★★★	韩国	制造业
4	台达	DELTA 台达	★★★★★	中国台湾	制造业
5	SK 中国	SK	★★★★★	韩国	综合

開催された「中国 ESG 発表」シリーズイベントにおいて、中央広播電視总台財經番組センター（CCTV_2）によって「在中外資系企業 ESG 活動報告」が正式に発表された。中国において、権威ある第三者機関が在中外資系企業に焦点を合わせた ESG 研究報告書を発表するのはこれが初となる。同報告書は、「在中外資系企業がいかに中国式現代化による発展の新たなチャンスをつかみ、ESG の理念を踏み込んで実行し、中国の持続的発展にエネルギーをもたらすか」に重点を置いている。（5/16 人民網、写真元：5/13CCTV_2）

- ・習近平国家主席がGCC諸国産業・投資協力フォーラムに祝賀メッセージ：中国一湾岸協力会議（GCC）諸国産業・投資協力フォーラムは23日、福建省廈門（アモイ）市で開幕した。習近平国家主席は「中国とGCC諸国の友好的な往来には千年を超える長い歴史がある。2022年、第1回中国・GCCサミットが成功裏に開催され、中国とGCC諸国との協力深化の新局面が切り開かれた。中国とGCC諸国による産業・投資協力の深化は、『一帯一路』（the Belt and Road）共同建設イニシアティブとGCC諸国の発展戦略・ビジョン・計画との連携を強化し、強みを用いた相互補完を発揮し、発展の新たな原動力を共同で培い、双方の繁栄と発展を促進することに寄与する。中国はGCC諸国と共に団結を促進し、協力を図り、中国・GCC関係の新たな章を記すことを望んでいる」と表明した。（5/24 新華社、人民網）

- ・17.2%増！大規模な設備更新が中国経済成長の新たな原動力を生む：2023年12月、中央経済政策会議は「技術、エネルギー消費、二酸化炭素排出量などの基準の向上を牽引力とし、大規模な設備更新と消費財の買い替えを後押しする」方針を打ち出した。今年3月、国務院は「大規模な設備更新と消費財の買い替え行動計画」を通達し、2027年までに工業、農業、建設、交通、教育、文化観光、医療などの分野で設備投資規模を2023年比で25%以上増加させるとした。大規模な設備更新に導かれる形で、製造業全体の投資も望ましい増加傾向を示している。国家統計局の統計によると、1-4月期の設備工具・器具購入投資は前年同期比で17.2%増加し、投資全体の増加を2.2ポイント押し上げた。（5/24 人民網）

【製造業関連・関連の政策等】

- ・中国1-4月の自動車産業 前年同期比生産量7.9%増・販売量10.2%増：中国自動車工業協会が11日に明らかにしたところによると、今年1-4月には、中国の自動車生産台数が前年同期比7.9%増の901万2,000台、自動車販売台数が同10.2%増の907万9,000台に達し、安定した成長傾向を維持した。1-4月には、中国の新エネルギー自動車の生産台数は同30.3%増の298万5,000台に達し、販売台数は同32.3%増の294万台に達し、市場シェアは32.4%に上った。（5/13 人民網）
- ・中国4月の消費需要回復 CPIが前年比3ヶ月連続上昇：中国国家统计局が11日に発表したところに

よると、今年4月には中国の消費者物価指数（CPI）の前年同期比上昇率が0.3%に拡大した。個人の消費需要が持続的に回復するのにもなって、CPIが前年同期比3ヶ月連続で上昇した。4月の非食品価格は同0.9%上昇し、上昇率は前月比0.2ポイント拡大した。前月と比較すると、4月のCPIは低下から0.1%の上昇に転じた。そのうち食品価格は1.0%低下し、低下幅は前月より2.2ポイント縮小した。非食品価格は前月の0.5%の低下から0.3%の上昇に転じた。（5/13 人民網）

- **中国 1-4 月の非金融分野の対外直接投資、前年同期比 18.7%増**：商務部（省）が 23 日に明らかにしたところによると、今年 1-4 月には、中国の非金融分野の対外直接投資が前年同期比 18.7%増の 3,434 億 7,000 万元（1 元は約 21.7 円）に達した。そのうち中国企業が「一帯一路」（the Belt and Road）共同建設国で行った投資は同 20.4%増の 777 億 7,000 万元だった。同期の対外請負工事の完成工事高は同 8.8%増の 3,134 億 2,000 万元となり、新規契約額は同 9.3%増の 4,443 億 9,000 万元だった。そのうち中国企業が「一帯一路」共同建設国で請け負った工事の完成工事高は同 9.1%増の 2,525 億 6,000 万元、新規契約額は同 17.7%増の 3,862 億 9,000 万元だった。（5/24 人民網）
- **減少から増加へ！中国 4 月の一定規模以上工業企業の利益が 4.0%増**：国家統計局が 27 日に発表したデータによると、今年 4 月には、全国の一定規模以上の工業企業（年売上高 2,000 万元以上の企業）の利益が 3 月の前年同期比 3.5%減から同 4.0%増に転じ、成長率は前月比 7.5 ポイント上昇し、企業の利益が大幅に改善した。1-4 月の一定規模以上の工業企業の利益は同 4.3%増となった。成長率は 1-3 月の水準を維持し、安定した成長傾向が続いた。（5/27 新華社、人民網）

【トピックス】

- 1、**「寧徳製」の自動車 2,230 台が船でメキシコへ輸出**：福建省寧徳市で製造された輸出用の自動車 2,230 台を積み込んだ RORO 船「上汽安吉鳳凰」が 21 日、同省の寧徳港を出港した。中継輸送によりメキシコへ向かった。今回輸出された自動車は、寧徳通関地を経由した 1 回の自動車輸出として今年最大規模のものになる。今回輸出された自動車製品には新エネルギー自動車、乗用車、SUV などのタイプが含まれ、主に上汽集団の乗用車寧徳拠点で製造されたものだ。寧徳国境検査所によると、今年に入り、寧徳通関地から輸出された自動車は前年同期比 165%以上増の 6,498 台に達したという。（5/22 中国新聞網、人民網）
- 2、**中国の東南アジア向け新エネ製品の輸出が増加傾向を維持**：大手会計事務所の KPMG 中国はこのほど発表した報告書「新エネルギー企業海外進出シリーズ：東南アジアへの出航」の中で、「世界のクリーンエネルギーの需要の持続的な拡大及び中国の新エネ産業の競争力の持続的な向上に伴い、中国の東南アジア向け新エネ製品の輸出が増加傾向を維持する見込みだ」と記載した。同報告書は、新エネ企業は国内外の要因により、海外進出の機会を積極的に探る一方で、東南アジア市場は中国の新エネ企業を強く惹き付けており、ベトナムやインドネシアなどの国が中国企業の人気の海外進出先になるだろうとしている。データによると、中国の高付加価値でハイテクのグリーントランスフォーメーション製品としての新エネ車、リチウム電池、太陽電池という「新三種の神器」の海外での売れ行きが好調だ。また別の研究機関が発表したデータによると、中国の今年 1-3 月の蓄電池輸出量は前年同期比 4.9%増の 10 万台を超えた。（5/22 人民網）
- 3、**テスラ上海「メガパック」工場が着工**：電気自動車（EV）メーカー米テスラの超大型商用バッテリー「メガパック」工場の着工式が 23 日、中国（上海）自由貿易試験区臨港新エリアで行った。同工場はテスラが米国以外で初めて建設するバッテリー工場であり、中国に進出して 10 年になるテスラが、上海ギガファクトリーに続いて中国で行う大型投資プロジェクトでもある。上海ギガファク

トリーはバッテリー電気自動車（BEV）を年間 95 万台以上生産できる能力を備え、テスラにとって世界的に重要な生産拠点と輸出センターだ。予想では、新工場は 2025 年第 1 四半期（1-3 月）に生産をスタートする。「メガパック」の生産能力は年間 1 万基近く、容量は 40 ギガワット時（GWh）近くに達し、製品は世界に供給される。テスラは 15 年に初めてバッテリー製品を打ち出し、今では世界の 65 を超える国・地域に製品を提供しており、テスラにとって成長率が最も高い事業の一つとなっている。（5/24 人民網）

【中国の GDP1 兆元都市 26 ヶ所】

中国国内総生産（GDP）が 1 兆元（1 元は約 21.5 円）を超える都市は「上海、北京、深セン、広州、重慶、天津、蘇州、武漢、成都、杭州、南京、青島、無錫、長沙、寧波、鄭州、仏山、福州、泉州、南通、合肥、西安、済南、東莞、常州、煙台」の 26 都市となった。GDP の総量から見ると、上位 3 位の上海、北京、深センは安定の中で成長した。重慶は経済 4 位の都市に飛躍した。GDP 成長率は蘇州が 7.9% でトップだった。

蘇州：蘇州の 1-3 月期 GDP が前年同期比 7.9% 増の 5,549 億元に達し、成長率は 26 都市の中でトップだった。工業では、蘇州の同期の一定規模以上の工業企業（年売上高 2,000 万元以上の企業）の付加価値額は同 11% 増加した。そのうち電子情報と自動車製造の 2 大産業はそれぞれ同 10% 増、同 15.8% 増と 2 桁の伸びを達成した。この 2 大産業の成長による寄与度は 58.5% に達し、今年の工業生産の好調なスタートに大きく貢献した。対外貿易では、蘇州の同期の対外貿易輸出入額は同 9.6% 増の 5,934 億 8,000 万元で、同期の全国の輸出入総額の 5.8%、江蘇省の輸出入総額の 45.8% を占め、全国の主要対外貿易都市の中で 4 位だった。そのうち集積回路と携帯電話が輸出の伸びを牽引し、電気自動車（EV）の輸出が急増した。データを見ると、EV の輸出額は 19 億元で、前年同期比 8.4 倍増となった。

重慶：重慶の工業の急速な成長を支えたのは、主に自動車、材料、電子の 3 大産業で、付加価値額の成長率はそれぞれ 23.7%、8.0%、7.3% だった。新エネルギー自動車は自動車産業の高度成長を支え、生産量は前年同期の 2 倍となった。

広州：「新技術、新たな競争の場、新市場への政策的支援を強化する」という広州は、すでに将来の産業に向けて動き出しており、低空域飛行活動による経済形態「低空経済」の計画配置の成果が出始めている。広州には海格通信、泰斗微電子科技、小鵬匯天など、商業宇宙応用デバイスとこれに付随するチェーンのリーディングカンパニーがあり、億航智能をはじめとする低空分野の企業が 50 社以上集まっている。同期には航空機、宇宙船、関連設備の製造業の付加価値額が同 21.4% 増となった。（5/9 中国新聞網、5/10 人民網）

【イベント】

【出展募集中】FBC 上海 2024in PTC 伝動展 2024 年 11 月 5-8 日 上海新国際博覧中心

【出展募集中】FBC 深セン 2024in NEPCON 電子展 2024 年 11 月 6-8 日 深セン国際会展中心

*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室